

令和元年度事業報告

I 事業の概要

1 公益目的実施事業

(1) 債務保証事業、肉用牛担保管理事業等

ア 債務保証事業

債務保証事業に取り組んだ組合は 11 組合であり、12 の金融機関からの借入れに係る債務保証額は 2,003 百万円（前年同期 2,064 百万円）となった。

なお、年度末債務保証残高は、3,678 百万円(前年同期 4,216 百万円)である。

イ 肉用牛担保管理事業

肉用牛担保管理事業に取り組んだ組合は 5 組合であり、独立行政法人家畜改良センターの個体識別情報との照合を行った。

なお、金融機関からの借入に係る年度末肉用牛担保管理残高は、1,196 百万円(前年同期 977 百万円)である。

ウ 乳用牛担保管理事業

乳用牛担保管理事業は平成 28 年度に創設され、同事業に取り組んだ組合は 1 組合であり、独立行政法人家畜改良センターの個体識別情報との照合を行った。なお、金融機関からの借入に係る乳用牛担保管理残高は 14 百万円(前年同期 22 百万円)である。

エ 債務保証対象預託牛の在庫確認業務

組合の在庫確認対象預託牛の個体識別情報と家畜改良センターの個体識別情報との照合及びその結果等の組合への報告をおこなった。（4 組合：前年同）

オ 肉用牛預託事業

肉用牛預託事業は平成 29 年度に創設され、同事業に取り組んだ組合は 6 組合、参加組合員は、18 名であり、当協会が肉用牛等を導入し、協会の会員の組合員に預託した。なお、年度末肉用牛預託事業残高は、521 百万円(前年同期 404 百万円)である。

(2) 家畜市場環境整備推進等助成事業（協会公募事業）の実施

ア 公募等

家畜市場環境整備推進事業及び肉用子牛導入資金円滑化推進事業について、次のとおり公募を実施した。

- ・ 対象応募団体 中小企業等協同組合法に基づく事業協同組合
- ・ 公募期間 令和元年 7 月 1 日～7 月 31 日

・ 公募事業審査委員会 令和元年 8 月 23 日

イ 家畜市場環境整備推進事業

家畜市場の設備等の整備、防疫対策の強化等を図るための取組に対し、10 組合、17,942 千円（前年 13 組合、18,759 千円）を助成した。

ウ 肉用子牛導入資金円滑化推進事業

債務の保証、肉用牛担保管理及び乳用牛担保管理の事業を推進するための取組に対し 14 組合、9,545 千円（前年 14 組合、10,477 千円）を助成した。

(3) 家畜商の営業保証金供託代行事業の実施

新規供託及び廃業者の供託取戻しの代行業務の件数は次のとおりである。

- | | |
|----------|---------------|
| ・ 新規供託 | 50 件（前年 43 件） |
| ・ 廃業者取戻し | 61 件（前年 32 件） |

(4) 家畜の取引に関する調査研究、普及啓発事業の実施

ア 預託牛導入保証積立預り金の運用管理事業

家畜商組合の預託牛導入資金調達円滑化を図るため、家畜商組合の預託牛導入資金に係る債務の保証及びその代位弁済に充てるための預託牛導入保証積立預り金の運用管理を行った。

イ 預託牛導入の拡大に向けた運用体制の構築事業

協会の預託事業の普及推進、家畜商組合が預託事業に新規参加する場合の課題の洗い出し・対応策の検討、家畜商協会が実施する預託事業の改善事項の検討等を行った。

①預託事業運用体制検討委員会、全国検討会議等を開催し、事業実施規程及び関連規程の内容検討、組合が預託事業に新規参加する場合の課題の洗い出し、協会が実施する預託事業の改善事項等に係る調査内容、調査結果に基づく対応策の検討を行った。

②協会の預託事業の普及推進等

協会の預託事業を普及推進するため、関心のある組合(8 組合)等に対する現地調査、ブロック別会議の開催(2 地区)、全国普及推進説明会の開催(9 組合参加)で説明・協議したほか、同事業の改善に向けた調査を行った。

③啓発普及資料の作成、配布

啓発普及資料、預託牛の拡大に向けた運用体制の構築事業報告書、家畜商協会の預託事業の概要(パンフレット)及び「家畜商協会の預託事業で増頭に取り組みませんか？」(リーフレット)を作成し関係先へ配布した。

ウ 預託牛導入におけるABL(動産担保による資金調達手法)の普及推進事業

預託牛導入におけるABLの普及推進のための専門委員会とABL普及推進説明会と担保牛確認システムの改修を行った。

① ABL普及検討会議等の開催

ABL普及検討会議、専門委員会を開催し事業の実施方法、普及推進に向けた普及・啓発資料の作成内容について検討を行った。

② ABL普及推進

預託牛導入におけるABLを普及推進するためアンケート調査を実施した。その結果をもとに、預託未実施組合1組合と融資金額の増額が見込まれる1組合とシステム改修について1組合の現地確認調査を実施した。

③担保牛債権管理システムの一部改修

本システムは、全面改修から3年目をむかえ運用上必要な機能が発生したため、機能追加を行った。そのため、「債権管理システム等一部改修等に係るシステム開発を入札により情報処理会社に業務委託をした。

④啓発普及資料の作成、配布

ABL普及推進等事業実績報告書を3月に作成し、関係先に配布した。

エ 健全な家畜取引推進のための啓発普及事業

家畜市場の利用促進方策及び酪農家における初成牛の生産状況等のアンケート調査を行うとともに、啓発普及資料として「家畜取引の知識」を作成し、その成果品である事業報告書を組合、家畜市場、関係機関に配布した。

① 推進会議等の開催

専門委員会(7月8日、令和2年2月10日)、企画・編集部会(8月7日、11月20日、令和2年2月20日)、実務担当者会議(7月26日)を開催し、事業の実施方法、アンケート調査、啓発普及資料の内容等について検討した。

② 現地検討会の開催

専門委員による家畜市場の利用促進方策の実施状況調査を行った。(栃木組合9月5日、十勝組合10月4日、山形組合10月28日)

③ 啓発普及資料のとりまとめ

アンケート調査及び現地調査の結果等を踏まえて専門委員会で検討を行い、事業報告書「酪農家における初成牛の生産状況」並びに企画・編集部会で検討した「家畜取引の知識」を作成配布した。

オ 肉用牛流通促進対策事業

協会自ら試行的に預託事業を実施することとし、預託牛の導入、販売、資金調達、預託事業参加候補者の現地調査、預託事業参加者の選定等に係る審査委員会の開催、預託牛の確認及び技術指導等を行った。

① 審査委員会の開催

審査委員会を3回開催し、預託モデル事業の改善事項の検討、預託事業参加者の選定等を行った。

② 現地調査等

預託事業参加候補者の現地調査(1回)、家畜市場現地調査(1回)、預託牛の確認及び技術指導(5回)を行った。

2 表彰等地域活性化対策事業

(1) 会員組織の活性化事業等の実施

ア 全国優良家畜商の表彰

・表彰者：35名

・表彰日：令和元年6月21日（定時総会開催時）

イ 家畜商団体ブロック別協議会に対する参加等

下記のとおり各地域毎に家畜商ブロック会議が開催され、当協会の役員が出席し、畜産に係る中央情勢及び当協会の活動状況を説明・報告するとともに、各地域における会員の実情把握に努めた。

① 近畿家畜商ブロック会議（令和元. 8.28 開催）

② 東北・北海道家畜商大会（令和元.11.30 開催）

③ 関東ブロック家畜商団体協議会（令和 2. 2.21 開催）

ウ 会員団体等が行う地域畜産共進会に対する支援と賞状交付

・共進会開催件数 23 件

・賞状交付 36 枚

・副賞交付 38 点（副賞のみ要望が2件あり）

エ 組織対策事業

会員の組織運営の活性化に資するため、会員が実施する諸活動に対し、16 会員、

2,178 千円（前年 18 会員、2,310 千円）を助成した。

オ その他

- ① 本年度の会員役員を対象にした全国段階の研修会は、新型コロナウイルス自粛対策のため中止となった。
- ② 関東ブロック協議会が開催する枝肉共進会について、同協議会から委託を受けて共進会を実施した。

(2) 中央団体、関係機関との連携活動

ア 適時に開催される中央会員連絡会議に出席し、畜産関係情報の収集を図るとともに、施策の円滑な実施等に関して中央畜産関係団体及び関係機関と意見交換を行った。

イ 農林水産省及び農畜産業振興機構が主催する畜産関係諸対策の説明会等に出席し、情報の収集を図り、会員に情報を提供するとともに、関係団体の取組状況の把握に努めた。

(3) 家畜商移動状況の調査

令和元年中における家畜商の移動状況を都道府県畜産課に依頼して調査した結果、元年中の新免許取得者数 267 名、登録削除者数 592 名であり元年末現在の家畜商登録者数は 39,691 名（前年対比△325 名）となった。

II その他報告事項

1 総会、理事会等の開催等

(1) 定時総会の開催

日時：令和元年 6 月 21 日

場所：馬事畜産会館 会議室

報告：第 1 号報告 平成30年度事業報告に関する件

第 2 号報告 平成30年度公益目的支出計画実施報告書に関する件

決議：第 1 号議案 平成30年度計算書類（貸借対照表及び正味財産増減計算書）の承認に関する件

第 2 号議案 令和元年度会費及び賛助会費の額並びに徴収方法に関する件

第 3 号議案 役員を選任に関する件

第 4 号議案 役員の報酬等の額及びその支給基準に関する件

（書面総会）

日時：令和2年3月31日

決議：令和2年度借入金最高限度額承の件

(2) 理事会の開催

第1回

日時：令和元年6月6日

場所：馬事畜産会館 会議室

決議：第1号議案 平成30年度事業報告及び附属明細書について

第2号議案 平成30年度計算書類（貸借対照表及び正味財産増減計算書）及び附属明細書について

第3号議案 平成30年度公益目的支出計画実施報告書の件

第4号議案 令和元年度定時総会に関する件

第5号議案 役員を選任に関する件

第6号議案 役員報酬等の額及びその支給基準に関する件

第6号議案 肉用牛預託事業の参加承認基準及び肉用牛預託事業採択に係る事務局選択基準の一部改正に関する件

第7号議案 肉用牛導入資金円滑化推進事業助成金交付要領の一部改正に関する件

第2回

日時：令和元年6月21日（総会時）

場所：馬事畜産会館 会議室

決議：第1号議案 会長、会長代行、副会長、および専務理事の選定に関する件

第2号議案 理事会の招集権限に係る順序に関する件

第3号議案 審査委員の委嘱に関する件

第3回

日時：令和元年12月4日

場所：馬事畜産会館 会議室

報告：令和元年度業務の執行状況について

決議：第1号議案 協会預託事業関係規程の整備に関する件

1.実施規程の一部改正（案）（令和2年4月1日実施予定）

第4回（書面理事会）

日時：令和2年3月13日

報告：第1号報告 令和元年度業務の執行状況について

- 決議：第1号議案 令和元年度事業計画及び収支予算（案）について
第2号議案 長期借入金の借入先、借入上限額等の改正について
第3号議案 役員退職慰労金の支払いについて
第4号議案 臨時総会（書面総会）の開催に関する件

（3）正副会長会議の開催

第1回

日時：令和元年6月6日

場所：馬事畜産会館 会議室

議事：令和元年度第1回理事会の開催について、令和元年度定時総会の開催について、平成30年度事業報告及び附属明細書について、平成30年度計算書類（貸借対照表及び正味財産増減計算書）及び附属明細書の承認について、平成30年度公益目的支出計画実施報告書について、役員を選任に関する件について、役員の報酬等の額及びその支給基準について、肉用牛預託事業の参加承認基準及び肉用牛預託事業採択に係る事務局選択基準の一部改正について、肉用牛導入資金円滑化推進事業助成金交付要領の一部改正について、

第2回

日時：令和元年12月4日

場所：馬事畜産会館 会議室

議事：令和元年度業務の執行状況について、令和元年度第3回理事会の開催について

第3回（書面会議）

日時：令和2年3月13日

議事：令和元年度業務の執行状況について、令和元年度第4回理事会の開催について、令和2年度事業計画及び収支予算について、長期借入金の借入先、借入限度額等について、役員退職慰労金の支払いについて、臨時総会（書面総会）の開催について

（4）審査委員会の開催

第1回（書面審査会）

日時：平成31年4月11日

議事：債務保証、肉用牛担保管理、乳用牛担保管理及び協会の預託事業の平成30年度実績、保証限度額の見直しに係る肉用牛導入資金保証事業の手続細則の一部改正

第2回（書面審査会）

日時：平成31年6月5日

議事：肉用牛預託事業の参加承認基準及び肉用牛預託事業採択に係る事務局専決基準の

一部改正

第3回

日時：令和元年7月31日

場所：馬事畜産会館 会議室

議事：債務保証、肉用牛担保管理、乳用牛担保管理及び協会の預託事業の平成31年度第1四半期実績

第4回（書面審査会）

日時：令和元年10月31日

議事：債務保証、肉用牛担保管理、乳用牛担保管理及び協会の預託事業の令和元年度第4四半期実績、債務保証事業等実施組合の財務内容、肉用牛担保管理事業実施要領等の一部改正、協会の預託事業実施規程の一部改正

第5回（書面審査会）

日時：令和2年2月7日

議事：債務保証、肉用牛担保管理、乳用牛担保管理及び協会の預託事業の令和元年度第3四半期実績、債務保証限度額引き上げに係る債務保証状況、債務保証事業等実施組合の財務内容、令和2年度債務保証事業等の実施

(5) 外部監査

令和元年5月14日及び15日当協会において、平成30年度決算について、外部監査人(文野公認会計士)による会計に関する監査が行われた。

また、令和2年3月27日及び30日同会計士による令和元年度決算の期中監査が行われた。

(6) 監査

令和元年5月17日当協会において、平成30年度における業務遂行状況及び収支決算等について監事監査が行われた。

2 会員、役員、入会預り金等の状況

(1) 会員の入会・脱退

ア 入会預り金会員

入会：なし

脱会：なし

イ 会費会員

入 会： なし

脱 会： なし

(2) 役員の変動状況

役 職	期 首	退 任	就 任	期 末
会 長	1	1	1	1
会長代行	1	1		0
副 会 長	6	2		4
専務理事	1			1
理 事	16			16
監 事	2			2
計	27	4	1	24

【役員定数】 理事：22～27名以内、監事：5名以内

(3) 保証積立預り金の受入・払戻

- ①払戻・岡山県家畜商業協同組合 5,370,000 円 (11月8日返納)
- ②払戻・京都府家畜商業協同組合連合会 10,100,000 円 (11月8日返納)

(4) 内閣府（公益認定委員会）等への届出等

公益目的支出計画実施報告書の提出：定時総会で承認を得た決算に基づき、令和元年6月25日に内閣府に公益目的支出計画実施報告書を提出した。

- ・公益目的財産額 : 294,311,819 円
- ・公益目的財産残額 : 164,266,673 円 (平成30年度末)
- ・完了予定年月日 : 平成26年4月1日から平成47年3月31日 (令和17年3月31日) (21年間)

令和元年度事業報告の附属明細書

令和元年度事業報告には、「一般社団法人及び一般財団法人に関する法律施行規則」第 34 条第 3 項に規定する附属明細書「事業報告の内容を補足する重要な事項」が存在しないので作成しない。